

令和5年9月25日、SNSで動愛センターに団体登録している栃木しっぽの会が多頭飼育崩壊した旨の記事をみたと一般の県民から電話があった。内容は、多くの犬が部屋に閉じ込められ、皮膚の状態が悪く、痩せ細り、衛生状態も悪いとのこと。令和5年9月25日、令和5年9月28日に現地を訪問したが、状況確認のため再度訪問した。

(1) 飼い主: () 過去団体登録あり

(2) 飼養頭数：犬 頭（シェルター 頭、 の の自宅 頭、自宅 頭）、山羊 頭

※頭数は[]の申告を含む（猫については屋内に[]頭確認したが、[]に中断されたため、それ以外については確認できず。その後、[]のSNSに[]が[]頭引き取ったことが記載されており、[]に電話で確認したところ、猫はすべて[]が連れて行ったとのことであった。）

3 応対者

(1) 飼い主等：

(2) 關係者： [REDACTED]

(3) 行政：栃木県動物愛護指導センター 荒川課長、矢神技師

4 確認結果

(およびからの聞き取り)

・10月7日に[]と話し合い、今後は[]が犬猫の所有者となり、[]が現在の場所で管理をしていくこととなった。

・ [REDACTED] に協力してもらって不妊手術をすることになっていたが、それは中止することとし、現状のまま譲渡できる犬を出していくことにする。

・**黒**は**黒**頭以下まで減らしていきたい考えたが、**黒**は現状譲渡に適した犬はほとんどいないと考えている。

・新たな犬の受け入れはしていない。

(犬の状況)

・青いトタンの建物の2階部分は■頭、1階部分は■頭になった。

敷地内の建物外には頭の犬がいた。

・2階建ての建物内部は2階部分■頭、1階部分右側■頭、左側■頭。子犬はすべていなくなったとのこと。

・ 〇〇の申告では〇〇頭減ったとのことであったが、前回立ち入り時より〇〇頭減っていた。

・その他の犬に変化はなかったが、前回訪問時から犬の位置が変わっているようで、[REDACTED]も正確には把握できていない様子であった。

・畜犬登録および狂犬病予防ワクチンについて、適宜実施することを再度指導。

5 今後の対応

犬の頭数は減ったものの、飼養頭数が多いことに変わりなく、飼養環境は前回と同じような状況であった。今後も継続して訪問し、飼育環境等について指導していくこととする。